

平成20年度 地域分権

事業の評価書

石橋地域コミュニティ推進協議会

平成21年5月29日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 中村彰男



記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 安心・安全な地域づくり備品整備事業 |
| 事業実施前の状況 | ① 最近ひったくり等の犯罪が多発しており、特に年末年始は飲酒の機会も多く、地域の安心安全に影響を与えている。 ② 地域活動等で会員が巡回する時に石橋コミュニティ推進協議会会員であることを表示するものがなかった。 |
| 事業実施後の状況 | ① 活動のための備品(ハンドマイク・警備用蛍光チョッキ等)を常備した。② 首からぶら下げる方式の会員証をつくった。 |
| 事業の効果 | ① 防犯・防火活動を推進した。 ② 会員証で身分証明する事により活動もしやすくなった。 |
| 今後の課題等 | 詰め所の確保・年末の防犯防火活動に参加するボランティア活動の人材確保が課題である。 |

平成21年5月29日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 中村彰男



記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | コミュニティ紙発行事業 |
| 事業実施前の状況 | 校区内の住民に対して地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を知らせて、理解と支援を得る手段がなかった。 |
| 事業実施後の状況 | ①コミュニティ通信「いしばし1号～3号」を校区内の全戸4,250所帯に池田市広報の折り込み紙として3回/年配布しました。 ②またこれらのコミュニティ紙を地域内の掲示板(20年度は7カ所地域分権事業で増設)にも掲示した。 |
| 事業の効果 | ①号を重ねるごとに住民の方から反響が会長宅に多数寄せられるようになった。 ②特に「いしばし3号」は、校区内の歴史街道をテーマに取り上げた、通信紙を片手に散策されているご夫婦がおられたので尋ねたところ、地域内の歴史街道が実感できてうれしいと喜びの声を聞いた。 |
| 今後の課題等 | 広報委員会をつくり頑張ったが、まだまだ①掲載内容②紙面の大きさ③部数④配布方法などの検討課題は多い。また池田市アンケート調査では地域分権事業について当石橋校区住民の認知度が大変低いという結果がでており残念です。今後もさらに地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を多くの方々にお知らせして、理解と支援を得る用努力したい。 |


<様式4号>

平成21年5月29日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 中村彰男 

記

| 事業の名称 | 掲示板の設置 |
|----------|---|
| 事業実施前の状況 | 当地区には、社会福祉協議会の掲示板が10ヶ所ほど、自治会の掲示板が5ヶ所ほど、池田市と大阪府の団地の掲示板が2ヶ所ほど設置されています。 |
| 事業実施後の状況 | 今回初年度当地区に7ヶ所設置しました。 大型タイプ ①. 敬老会館前 普通タイプ ②. 旭丘3丁目第2公園前 ③. 井口堂ミニコープ前 ④. 府営井口堂団地前 ⑤. 井口堂北会館前 ⑥. 石橋北会館前⑦. 石橋2丁目デイリーヤマザキ横 |
| 事業の効果 | 掲示物件の効果はこれから現れてくると思います。営利目的なものは掲示からははずします。現状まで掲示したのは次のとおりです。 ○石橋地域通信「いしばし」1、2号○地域分権市民フォーラムの案内と瓦版○教育講演会の案内 ○ガーデニング教室の案内○地域行事等の案内 |
| 今後の課題等 | 地域通信と合わせて広報の相乗効果が出るようにしたい。地域広報活動の拠点として十分に力を発揮できると思う。今年度10ヶ所予定のところ7ヶ所設置。当初30ヶ所ほど提案あり。地域のバランスをみながら21年度は8ヶ所ほど設置したい。 |

平成21年5月29日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 中村 彰 男



記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | ①地域イベント整備事業 ②AED配置事業 |
| 事業実施前の状況 | ①地域の行事(石橋校区納涼大会・市民クリエーション住民大運動会等)を行うときは学校から借用していた。 ②AEDは学校に配置されているが校舎内にあり 土・日曜日は施錠されており校庭における地域行事などの場合即対応しにくい。 |
| 事業実施後の状況 | ①この度の事業でテントを2張り購入した、地域行事ですぐに対応できる、また逆に学校行事にも共用でき行事規模に柔軟な取り組みが出来る。 ②この度は取りあえず共同施設井口堂北会館には位置した。 配置 |
| 事業の効果 | ①学校と地域がより緊密になった。 ②共同施設井口堂北会館への配置は緊急時対応で安心・安全意識が高まった。 |
| 今後の課題等 | ①地域イベント整備事業を実施する場合いつも問題になるのは古くなった既存の備品の活用であるが地域や学校と連携をとりながら有効な活用を目指して今後も整備してゆきたい。 ②AEDを身近な地域の安心安全のために、他の集会場などにも増設を検討してゆきたい。 |


<様式4号>

平成21年5月29日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 中村 彰男 

記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 講習会のうちのガーデニング教室の開催 |
| 事業実施前の状況 | ガーデニング教室の開催により、園芸の学科と実技を通じて潤いのある街づくりをめざし、地域コミュニティの輪を拡げることが目的としました。 |
| 事業実施後の状況 | 花作りをとおして地域の皆さんの気持ちが通じることを願って、ベテランの講師から、1回目花作りの楽しさ、2回目ビオラのハンギングバスケット作りを教わりました。皆さん熱心に聞かれ、盛り上がりました。 |
| 事業の効果 | 楽しく2回とも受講していただけたと思います。 1回目50名2回目40名の受講者がありました。今回の講師は、元府立園芸高校の校長であり、当地域に居住している。経験豊かで指導力抜群。受講者からは満足度100%との評価を得た。 |
| 今後の課題等 | 園芸の輪は奥深いものですので、質問が多くありました。花の種類で栽培方法が変わります。地域の人たちがこの教室をつうじてコミュニティの輪が拡がり、つながりを持つような企画を今後考えていきます。 |

平成21年5月29日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 中村彰男



記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 街路灯強化事業 |
| 事業実施前の状況 | 最近地域内においてひったくり等の犯罪が多発傾向にあった。 |
| 事業実施後の状況 | 地元の要望と役員並びに担当部会により地域内を再三巡回し薄暗い場所や街灯はあるが劣化による照度不足の場所のチェックを行い計画カ所の改善が図れた。 |
| 事業の効果 | 地域住民の夜間通行に関して安心安全の向上に挙する事が出来た。 |
| 今後の課題等 | 校区内の重点カ所を最優先して整備しましたが、今後も徐々に照度アップを含めて整備して行きたい。大変感謝される場所が多かったが農業作物など明るくなることによる影響があり、不利益者との今後は受益者との調整を考慮しながら進めていく必要がある。 |

平成21年5月29日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 中村彰男



記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 池高道の安全対策 |
| 事業実施前の状況 | この道は、東畑線と平行しており校区内を南北に走る道路で沿道には敬老会館・池田高校・石橋中学・石橋小学校・石橋保育所・石橋公園等の公共並びに文教施設が点在しており高齢者はもとより通勤通学者や一般住民の主要な道路である。実施前は、路側帯(幅約1m弱)の明示に白線幅約10cmが引いてあった。しかし幅員約6m位と狭い上に東畑線の迂回路として車が利用するため通行量が多く、歩行者が常に車に注意しながら歩行するという非常に危険な状況にあった。 |
| 事業実施後の状況 | 上記の路側帯(幅約1m弱)の部分を鮮やかなグリーン色の歩道帯として塗装して歩道と車道の区分を明確にし意識的に分離した。 |
| 事業の効果 | 歩行者・自転車は安心感があるのか両側のグリーンベルト帯を努めて通行するようになり以前のように横いっぱい広がることなく縦列通行が目立ってきた。また車の運転者側は視覚的に道路が細くなったように感じ、以前より車速が低減されたようだ。またすれ違い時などは歩行者と運転者側が譲り合う光景が多く見られるようになった。ちょっとした工夫が道路の安全意識を高め交通のモラルが向上することが分かった。 |
| 今後の課題等 | 予算の都合上、工事は途中で終わったが、この道路の状況は先にも述べたが多くの住民が日々利用する主要な道路ですが舗装の老朽化も目立っており併せて改修工事施工すべきと考えられます。この度の地域分権制度から生じた効果でもあり、さらなる延伸を期待しています。 |

平成21年5月6日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

会長名 中村彰男



記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 「教育問題講演会等開催事業」 第1回平成20年10月18日（於井口堂北会館） 講師 黒澤義巳氏 参加人員40人 第2回平成21年3月22日（於井口堂北会館） 講師 中務光人氏 参加人員25人 |
| 事業実施前の状況 | 子供の能力にどのように対処するか心配な親が多かった。また子供の健康についても不安な面があった。 |
| 事業実施後の状況 | 見方により、異なる考え方が在るので今後も研修を希望する人が多かった。 |
| 事々の効果 | ①②どちらも子供の将来に不安な市民に考え方の参考になった。 「教育講演会」 ①子供の能力を引き出す（講師 黒澤義巳氏） ②子どもの健康（講師 中務光人氏） |
| 今後の課題等 | 子供の将来について、社会で共に考える面が多い又最近の予防接種、健康について、疾病予防等新しい疾病、問題点を今後も注意を払っていかねばならない。 |

平成20年度提案事業の予算査定並びに事業計画(案)

石橋地域コミュニティ推進協議会

2008/5/29

| NO | 事業名 | 予算額(千円) | 説明 | 概要 | 所管課 | 科目(目) | 実施時期(予定) | | | | | | | | | | | | 備考(依拠提案H19/12/10参照) |
|----|-------------------|---------|---------------|---|----------|-------------|----------|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|-----|-------------------------------|
| | | | | | | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
| 1 | 安心・安全な地域づくり備品整備事業 | 110 | 消耗品費110 | 防犯・防火の地域巡回や登下校時の声かけ活動等に必要の備品を整備する | 危機管理課 | 安全防災事業費 | | | | | | ☆ | | | | | | 3・7 | 安全・教育地域連携 |
| 2 | コミュニティ紙等発行事業 | 300 | 補助金300 | 地域コミュニティ推進協議会の活動内容等への地域住民の理解と支援を得るため、チラシ・ミニコミ紙の発行、アンケート調査等を行う | 政策推進課 | コミュニティ推進事業費 | | | | | ○ | ☆ | | | | | | 10 | (広報担当) |
| 3 | 地域掲示板設置事業 | 1,300 | 消耗品費1,300 | 地域広報活動の拠点となる案内掲示板の設置箇所を充実させる | 市民生活課 | 地域活性化事業費 | | | | | ○ | ☆ | | | | | | 6 | 少子高齢化・教育地域連携・レクリエーション・地域コミ再構築 |
| 4 | 地域イベント備品整備事業 | 240 | 器具費240 | 地域イベントを実施するさいに必要な行事用備品を整備する | 観光・ふれあい課 | 地域活性化事業費 | | | | | ○ | ☆ | | | | | | 9 | レクリエーション |
| 5 | AED配置事業 | 310 | 器具費310 | 地域行事等の傷病者発生時に、早期の救命措置を行うためにAEDを配置する | 健康増進課 | 保健福祉事業費 | | | | | ○ | ☆ | | | | | | 9 | レクリエーション |
| 6 | ガーデニング教室開催事業 | 100 | 補助金100 | 「花を育て心が潤う」町をめぐらし、園芸の専門家によるガーデニング教室を開催することにより、地域コミュニティの輪を広げる | 公園課 | 土木事業費 | | | | | ○ | ☆ | | | | | | 8 | 地域コミ再構築 |
| 7 | 街路灯強化事業 | 316 | 光熱水費30・工事費286 | 夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る | 管理課 | 土木事業費 | | | | | ○ | ☆ | | | | | | 2 | 環境・安全 |
| 8 | 道路安全対策事業 | 3,599 | 請負費3,599 | (通称池高道にグリーンベルト歩道帯を設けることにより、歩行者・運転者の安全意識の向上を図る) | 管理課 | 土木事業費 | | | | | ○ | ☆ | | | | | | 5 | 安全 |
| 9 | 教育問題等講演会開催事業 | 100 | 補助金100 | 身近な教育問題、子育て問題等のミニサークル的な講演会を開催することにより、地域コミュニティの輪を広げる | 教育部教育研究所 | 教育事業費 | | | | | | ○ | ☆ | | | | | 8 | 教育地域連携 |
| | 計 | | 6,375 | | | | | | | | | | | | | | | | 凡例 ○ 実施予定月 ☆ 次年度提案 |

NO 20年度の提案要望と予算査定について

- 提案NO8(年末年始防犯・防火活動の実施)ハンドマイク等備品要求5万円と提案NO7(委員の活動中表示啓発)ストラップ付き名札等購入6万円合計11万円満額回答
- 提案NO、10(事業費)地域コミュニティの円滑な活動費30万円満額回答
- 提案NO、6(掲示板設置)130万円満額回答
- 提案NO、9(行事中安全対策備品整備)20年度54万円要求に対してAED設置31万+備品24万円が査定された。
- 提案NO、8(講演・講習会並びに写真展開催の実施)20年度24万円要求に対してガーデニング教室開催として10万円、教育問題等講演会10万円が認められた
- 提案NO、2(防犯灯設置)20年度50万円要求に対して設置費28,6万円光熱費8万円の査定であった
- 提案NO、5(池高道の交通安全対策)20年度320万円要求に対して359,9万円(+39,9万円)の査定であった。
- これは提案NO、1(石橋公園砂場整備等)18万円の次年度への計画変更や他の査定減額分の流用と考えています。

総括 20年度提案事業計 637万円要求に対して、査定額637,5万円(+0,5万円)の回答であった。